

学校だより



戸塚小だより

川口市立戸塚小学校
令和7年2月28日
電話048(295)1810
児童数 683名

笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来へはばたけ戸塚っ子



最後までよりよいものを

校長 林 奈緒美

「授業、どうだった？」

念入りの教材研究、しっかりと指導案を作成して臨む授業。しかし、急な対応に追われ予定していた教員の授業の参観ができなくなっていました。放課後、その教員に授業について尋ねると、「3学期、子どもたちがふわふわしている」とのこと。どうもクラス全体で一体感のある授業、納得できる授業ができたという手応えは得られなかった様子。2学期末には、落ち着いて学習に向かい素早く行動する子どもたちの姿が広がり、学級の成長が強く感じられていたところでした。よくよく聞くと、どちらかといえば学習を得意とする子どもたちが落ち着かないようで、教員本人は、「学習を苦手とする児童を中心とした授業を行いつづけているのかもしれない。」と自身を振り返り分析していました。

教室に集う子どもたち、学習への興味関心は様々で大きな開きも見られます。授業に対する瞬発力が高くすぐに理解し、どんどん先へ進んでいきたい子。ゆっくりゆっくり時間をかけて理解を深めていく子。作業は速いけれど粗雑になってミスをしがちな子。実に丁寧、正確に取り組みどうしても時間がかかってしまう子。意欲を持って授業に臨める子もいれば、なかなかエンジンがかからない子も。その学年で、その1時間の授業で、子どもたちに身に付けていかなければならない内容があるわけで、さて、どうやって全員を同じ土俵に引き上げて学習のねらいを達成できる授業を創るか…は、永遠の課題です。取り残されてしまう子がいないように、理解・習得の早い子が飽きることなく学習欲求を満たしていけるように。

「どんなふうにしたらいいか、もっと考えてみます。」

うまくいかなかったことを自分に落として内省し、子どもたちがより良く学んでいける在り方を前向きに最後まで模索しようとする教員の姿が嬉しくて、そんな教員が誇らしくて、心の中で思いっきりエールを贈っていました。

学びある授業を行うには、児童相互の良い関係や学習規律も必要です。適度に規律があり安心な居場所となる学級が基盤となります。授業づくり、学年・学級づくりを両輪に走り続け、いつしか今年度最後の月となりました。性格も好みも考え方も異なる子どもたち一人一人と望ましい集団をつくり、円滑な学習活動を展開していく上で、本年度も保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。それぞれのご家庭に於いて、お子さんを諭し励まし元気に学校へ送り出すとともに、安全の見守り、学習支援、環境整備等、様々な形で教育活動に温かくご支援いただいたことに感謝申し上げます。

3月—子どもたちが自信と希望を持って4月の進級・進学へ向かって行くことを願い、最後まで学習・生活の指導・支援を丁寧に重ね、今年度を締めくくっていきます。

